

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 5 月 11 日 (2006.5.11)

【公表番号】特表 2002-513552 (P2002-513552A)

【公表日】平成 14 年 5 月 14 日 (2002.5.14)

【出願番号】特願 2000-547102 (P2000-547102)

【国際特許分類】

**C 1 2 N 15/09 (2006.01)**

**A 6 1 P 1/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 11/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 11/06 (2006.01)**

**A 6 1 P 29/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 35/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 37/02 (2006.01)**

**A 6 1 P 37/06 (2006.01)**

**A 6 1 P 43/00 (2006.01)**

**C 0 7 K 14/47 (2006.01)**

**A 6 1 K 38/00 (2006.01)**

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 K 14/47

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 15 日 (2006.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 配列番号 2 で示されたアミノ酸配列に対して 70 ~ 100 % の相同性を有するアミノ酸配列を含み、タンパク質 A 20 と相互作用することができ、及び / あるいは N F - B の活性化を調節及び / 又は阻害することができ、かつ N e f 関連因子 1 ではない、単離されたタンパク質。

【請求項 2】 配列番号 3 で表された配列番号 2 のアミノ酸 54 ~ 647 に対して 70 ~ 100 % の相同性を有するアミノ酸配列を含み、タンパク質 A 20 と相互作用することができ、及び / あるいは、N F - B の活性化を調節及び / 又は阻害することができる、単離されたタンパク質。

【請求項 3】 配列番号 8 で表された配列番号 2 のアミノ酸 420 ~ 647 に対して 70 ~ 100 % の相同性を有するアミノ酸配列を含み、タンパク質 A 20 と相互作用する

ことができ、及び／あるいは、NF - Bの活性化を調節及び／又は阻害することができる、単離されたタンパク質。

【請求項4】 配列番号5で表されたアミノ酸配列に対して70～100%の相同性を有するアミノ酸配列を含み、タンパク質A20と相互作用することができ、及び／あるいは、NF - Bの活性化を調節及び／又は阻害することができる、単離されたタンパク質。

【請求項5】 配列番号6及び／又は配列番号7で表された共通アミノ酸配列を含む、請求項1～4いずれか1項記載の単離されたタンパク質。

【請求項6】 請求項1～5いずれか1項記載のタンパク質をコードする核酸。

【請求項7】 配列番号1で表されたDNA配列に対して約70～100%の相同性を有する、請求項6記載の核酸。

【請求項8】 配列番号4で表されたDNA配列に対して約70～100%の相同性を有する、請求項6記載の核酸。

【請求項9】 タンパク質A20と相互作用することができ、及び／あるいは、NF - Bの活性化を調節及び／又は阻害することができる、医薬として使用するための、請求項1～5いずれか1項記載の単離されたタンパク質及び／又はその機能的断片。

【請求項10】 タンパク質A20と相互作用することができ、及び／あるいは、NF - Bの活性化を調節及び／又は阻害することができる、呼吸器障害、同種移植拒絶、慢性炎症性疾患、敗血症性ショック、アルツハイマー病、アテローム性動脈硬化症、癌及び又は自己免疫疾患を処置するための医薬の製造のための、請求項1～5いずれか1項記載の単離されたタンパク質及び／又はその機能的断片の使用。

【請求項11】 呼吸器障害が成人呼吸困難症候群であり、慢性炎症性疾患がリウマチ様関節炎、喘息、又は炎症性腸疾患であり、そして自己免疫疾患が全身性エリテマトーデスである、請求項10記載の使用。

【請求項12】 該タンパク質が、配列番号2のアミノ酸54～647、好ましくは390～647を少なくとも含む、請求項10又は11項記載の、タンパク質A20と相互作用することができ、及び／あるいは、NF - Bの活性化を調節及び／又は阻害することができる、単離された機能的タンパク質及び／又はその機能的断片の使用。

【請求項13】 該タンパク質が、配列番号2のアミノ酸420～647を少なくとも含む、請求項12記載の、タンパク質A20と相互作用することができ、及び／あるいは、NF - Bの活性化を調節及び／又は阻害することができる、機能的タンパク質及び／又はその機能的断片の使用。

【請求項14】 請求項1～5いずれか1項記載の、タンパク質A20と相互作用することができ、及び／あるいは、NF - Bの活性化を調節及び／又は阻害することができる、機能的タンパク質及び／又はその機能的断片の、該タンパク質とNF - B関連経路の他のタンパク質成分との相互作用を妨害する化合物をスクリーニングするための使用。

【請求項15】 請求項14記載のタンパク質の使用を含む、化合物をスクリーニングする方法。

【請求項16】 請求項1～5いずれか1項記載の、タンパク質A20と相互作用することができ、及び／あるいは、NF - Bの活性化を調節及び／又は阻害することができる、1つ以上の単離された機能的タンパク質及び／又はその機能的断片並びに薬学的に許容し得る担体物質を含む、薬学的組成物。